

令和2年度 「学校評価アンケート」結果および改善・充実案について

家庭数配布

文京区立林町小学校

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、年度末に際し、今年度の学校評価アンケートの結果をお届けいたします。アンケート結果から今年度の教育活動を分析し、指導の改善・充実を図り、次年度の教育活動に生かして参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

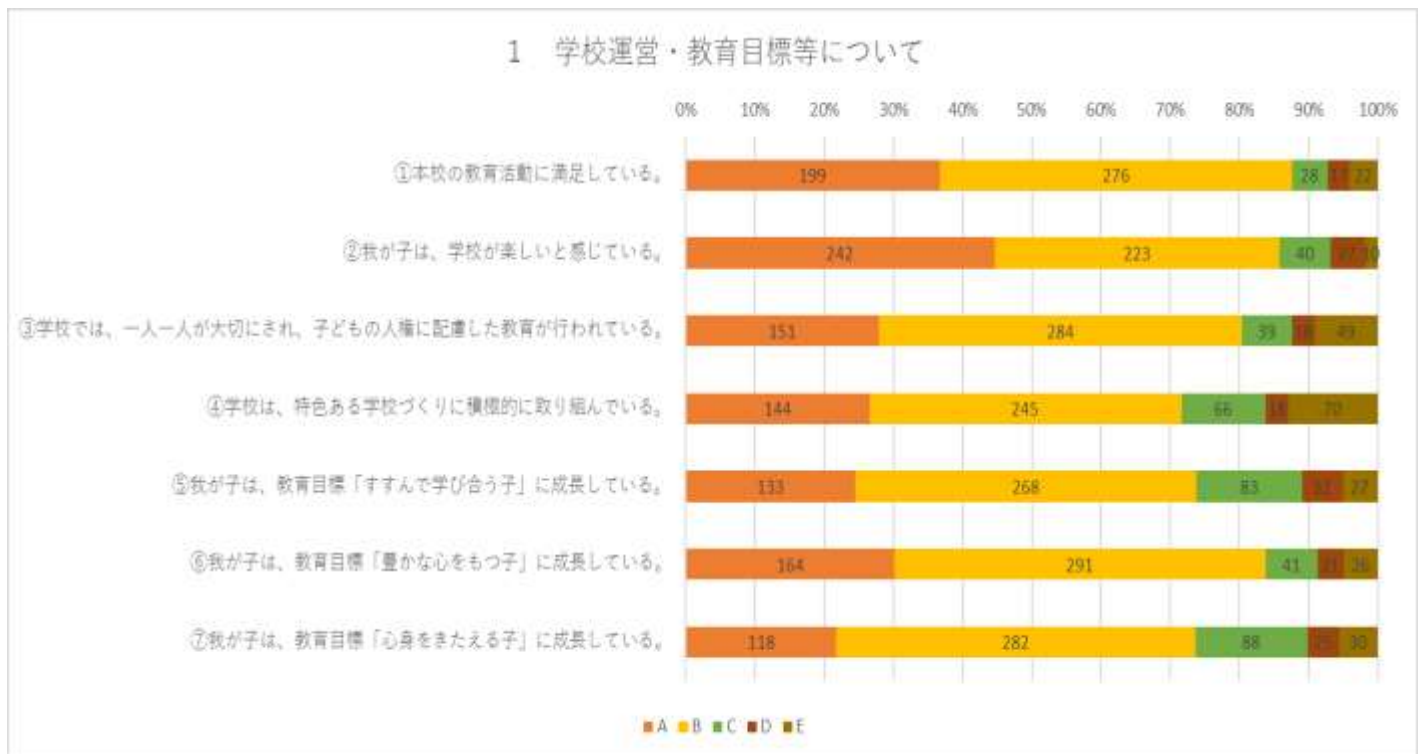
実施期間

令和2年11月24日～11月30日

回答 543/592

【回答率92%（児童数で実施）】

A よくあてはまる B おおむねあてはまる C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない E わからない



前年度比較

今年度の「1 学校運営・教育目標等について」の結果は、上記の通りとなりました。

肯定的なご意見となるA・Bを合わせた割合は、前年度と比較して、

①「教育活動への満足」	令和元年度	90%	→	令和2年度	87%
②「楽しい学校」		90%	→		86%
③「一人一人を大切にされた教育」		83%	→		81%
④「特色ある学校づくり」		73%	→		72%
⑤「すすんで学び合う子」		78%	→		73%
⑥「豊かな心をもつ子」		89%	→		84%
⑦「心身をきたえる子」		79%	→		73%

となっています。

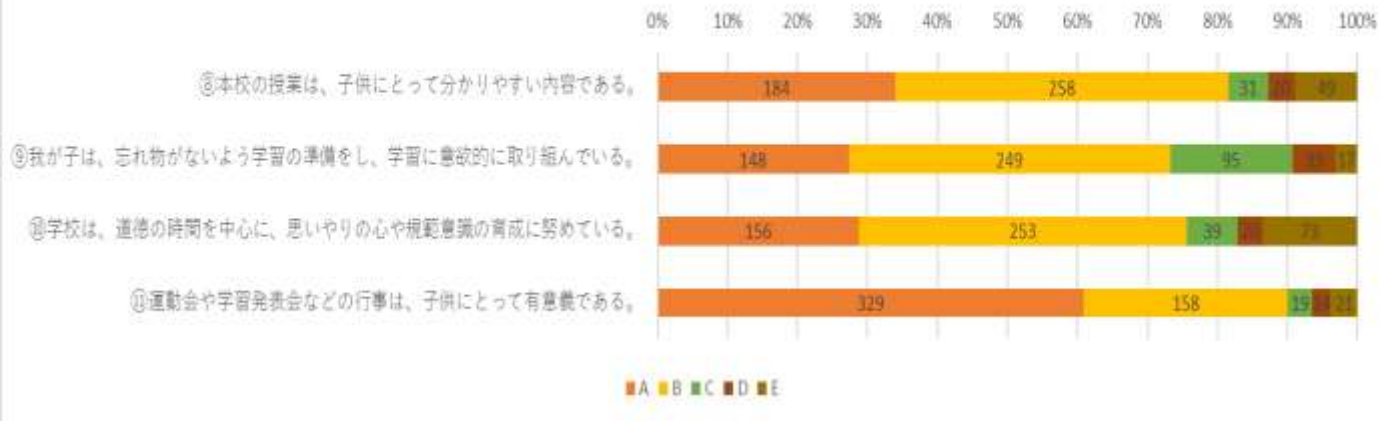
分析・改善・充実

- ① 「教育活動への満足」では、90%近い肯定的評価をいただきました。コロナ禍で、前年度までとは全く違う学校生活を余儀なくされた中で、このように評価いただいたのは、文京区や学校からの発信を、各ご家庭でご理解いただき、ご協力いただいた結果と受け止めています。来年度もその信頼関係を大切に、ご家庭、地域と連携して教育活動を行って参ります。
- ② 「楽しい学校」でも、概ね前年度と変わらない評価をいただきました。制限のある中で、児童が「楽しい」と感じて生活をできたことは何よりです。新しい生活習慣のもと、来年度も児童の心が豊かに育つ環境をつくるよう、努めて参ります。
- ③ 「一人一人を大切にされた教育」では、80%の肯定的評価でした。E「わからない」が昨年度の7%から今年度は10%ほどになり、保護者会や個人面談でなかなかゆっくりお話する機会をもてなかったことが影響しているかと考えます。来年度、この結果を受けて、ご家庭との連絡、連携を密にできるよう、学校全体で意識を高めて参ります。



- ④ 「特色ある学校づくり」では、E「わからない」と回答しなかった方のうち、約80%以上が肯定の評価となりましたが、他の項目に比べて、やはりE「わからない」が多くなっています。この項目については、例年似た傾向にあり、前年度の学校評価では、「特色」が日常化していて捉えにくいのでは、と考えて、今年度は積極的に学校便り、学年便りで発信に努めることを申し上げました。しかし、コロナ禍にあって、本校の特色である、課外の吹奏楽、たいさん木の広場をはじめとする学校と地域の連携、協力の活動が行われなかったり、ひまわり学級との交流会が大幅に縮小されたりして、「特色」を発信する機会が減少しました。来年度は、林町小の特色である取組の方法について再考することにより、新しい形で活動を行い、学校だよりや学年だより、ホームページ等で定期的に情報を発信できるように努めます。
- ⑤ 「すすんで学び合う子」⑦「心身をきたえる子」では、前年度より5%ほど値を下げ、70%台の肯定的評価となりました。C「あまりあてはまらない」の約15%は前年度同様でした。学校での学習については、今年度大きな制約があり、基本的に前を向いての授業、関わり合いのある学習が減る中で、試行錯誤を繰り返して参りました。この結果を、本校の課題と捉え、来年度はさらに工夫を凝らし、一人一人が学びの成果を感じられるよう努めます。⑥「豊かな心をもつ子」も、前年度同様の80%台でした。引き続き、学校で、ご家庭で、児童の豊かな心が育まれるよう、連携して参ります。

2 学習指導等について



前年度比較

今年度の「2 学習指導等について」の結果は、上記の通りとなりました。

肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

⑧「わかりやすい授業」	令和元年度	83%	→	令和2年度	82%
⑨「学習の準備・意欲」		78%	→		73%
⑩「心の教育」		81%	→		76%
⑪「行事」		94%	→		90%

となっています。

分析・改善・充実

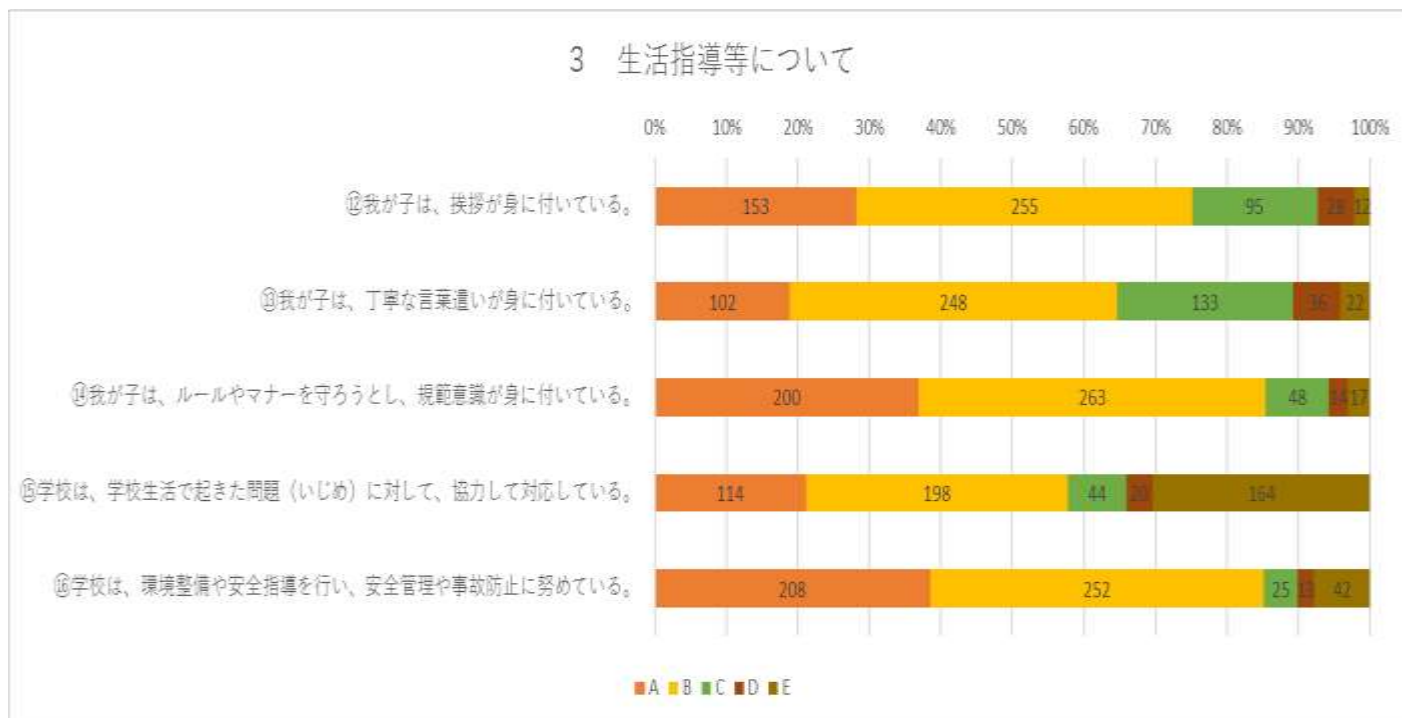
⑧「わかりやすい授業」では、前年度と同様、E「わからない」と回答しなかった方のうち、約80%が肯定的評価となりました。これまでも電子黒板やP Cなどを活用しながらユニバーサルデザインの授業に努めて参りました。次年度は、G I G Aスクール構想の下、I C T教育がますます充実していくことになります。オンラインを駆使した個別化・個性化が実現する授業力・指導力向上をさらに目指していく必要があります。

⑨「学習の準備・意欲」では、約30%が否定的評価を行っており、これも本校の課題としています。連絡帳やお便りなどで学習の準備について家庭とさらに連携を図っていきます。また、子供達の興味・関心や意欲を引き出す授業を設計できるように、教員間でより良い授業について学び合い、授業力向上を目指します。



⑩「心の教育」では、E「わからない」と回答しなかった方のうち、約87%が肯定的評価でした。一方で、E「わからない」の割合が多くなっており、道徳の授業を中心とした心の教育の実践が保護者の皆様に十分伝わっていないと考えます。これには、授業公開を実施できなかったことが大きく影響していると考えられます。特別の教科「道徳」の時間を中心に、道徳地区公開講座を展開し、学習を机上で終わらせずに、実践として身に付くよう指導を続けます。また、次年度は本校の「心の教育」の取組が皆様にご理解いただけるように、学年便りに「コラム欄」を作り、ご紹介します。

⑪「行事」では、前年度と同様、90%以上が肯定的評価となりました。コロナ禍であっても、保護者の方や地域の方と共に工夫をして、運動会や学習発表会を実施できたことが評価されたと考えています。次年度もコロナ禍の厳しい状況は変わりませんが、知恵を出し合い、安全・安心を最優先にしながらも有意義な行事が実施できるように努めて参ります。



前年度比較

今年度の「3 生活指導等について」の結果は上記の通りとなりました。

肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

⑫「挨拶」	令和元年度	73%	→	令和2年度	75%
⑬「言葉遣い」		65%	→		65%
⑭「規範意識」		81%	→		85%
⑮「いじめ等の対応」		57%	→		58%
⑯「安全管理」		78%	→		85%

となっています。

分析・改善・充実

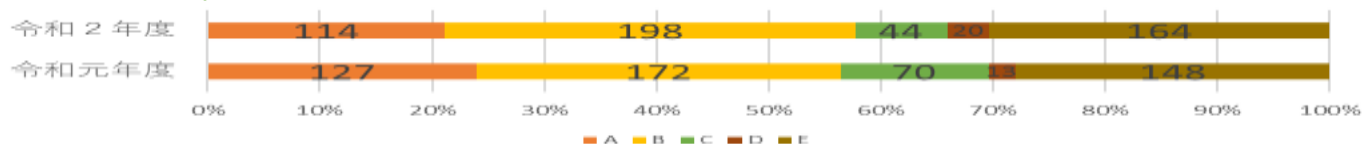
⑫「挨拶」では、75%が肯定的評価となり、前年度よりわずかですが伸びています。登校してから下校まで、学校生活の中で挨拶をする場面はたくさんあります。名前を呼ばれて返事をする 것도挨拶の一つだと指導しています。また、「ありがとう」や「ごめんね」は、かわわりをよくする言葉であると紹介しています。校内で児童の様子を見ていると「自分から挨拶をする」ことがなかなか難しいようです。特に、今年度は常時マスクを付けているので、表情が見えなかったり、声が聞こえなかったりと、積極的に挨拶をするには困難な状況がありました。「挨拶をすると気持ちが良い」ことを実感させ、明るい気持ちで生活できるように支援していきます。

⑬「言葉遣い」では、前年度と同様、65%の肯定的評価となりました。本校では、生活指導の重点目標を「相手の気持ちを考えた正しい言葉遣いをしよう」と掲げていますが、他の項目に比べて、C「あまりあてはまらない」、D「全くあてはまらない」の数値が高くなっています。この項目は、情緒の安定とともに改善されていくと考え、技能として指導するとともに、子供たちの様子を見ながら支援しているところです。学校でも重点項目として、今後の指導を強化していきます。

⑭「規範意識」では、前年度を上回る85%が肯定的評価となりました。発達段階によっても評価の基準が分かるところですが、各ご家庭でのお子様の様子が良好であると、ご判断いただけたと感じています。ただ、一部で一般的なルールやマナーについて理解していても、校内での行動がその理解に伴わず、重ねて指導を受けている様子が見られることもありました。そのような時には、ご家庭と連携し、学校での様子をお伝えすることで児童の変化や成長の一過程を理解する支援ができると考えております。

ピックアップ

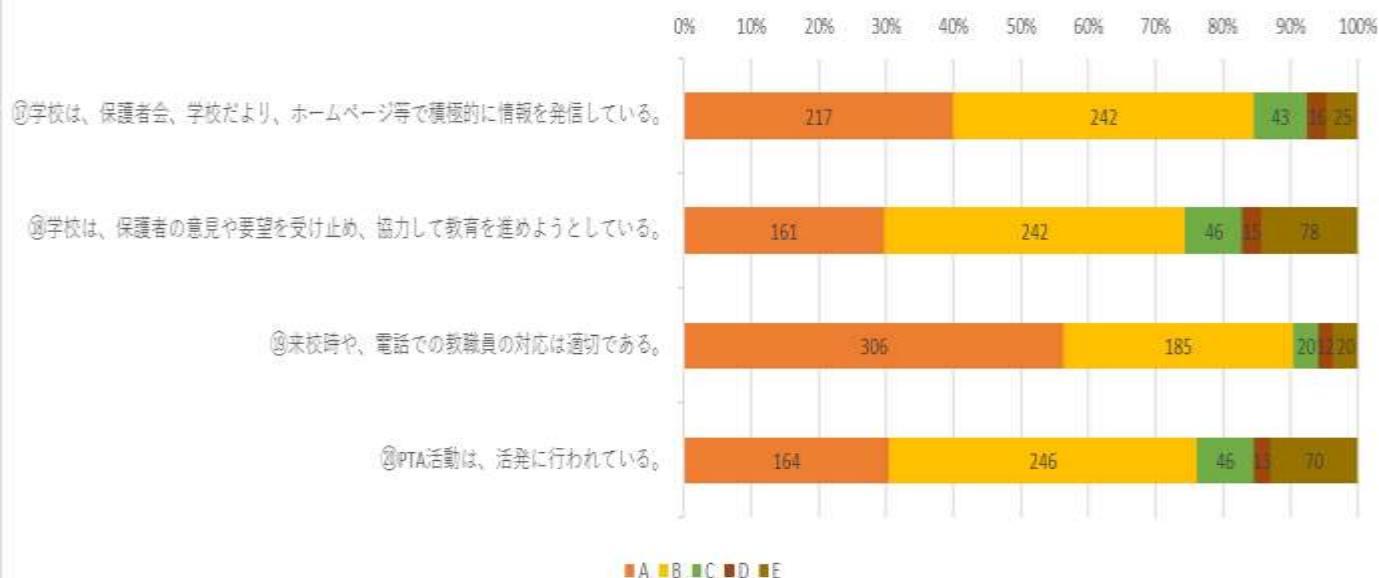
⑮学校は、学校生活で起きた問題（いじめ等）に対して、素早く適切に対応している。



⑯「いじめ等の対応」では、前年度と同様、E「よくわからない」の回答が非常に多くなっており、どのような事例があり、どのような対応がなされたのか、保護者の方に伝わりにくい現状が読み取れます。今まで同様、人権を守ることを第一優先としながらも、相談しやすい環境づくりに取り組みます。そこで、1学期に一回実施する「こころのアンケート」の活用や、スクールカウンセラーとの連携など、具体的な手立てを常に模索し、素早く適切に対応していると評価いただけるよう、取り組んで参ります。また、未然防止対策としての取組を、保護者会や学校便りにてお知らせし、保護者の皆様への周知を図ります。

⑰「安全管理」では、前年度を上回る85%が肯定の評価でした。今後も、毎月の安全指導や校内の安全管理に努めていきます。特に、登下校時の安全が確保できるよう、地域やご家庭との連携を進めていきます。

4 保護者・地域との連携について



前年度比較

今年度の「4 保護者・地域との連携について」の結果は上記の通りとなりました。

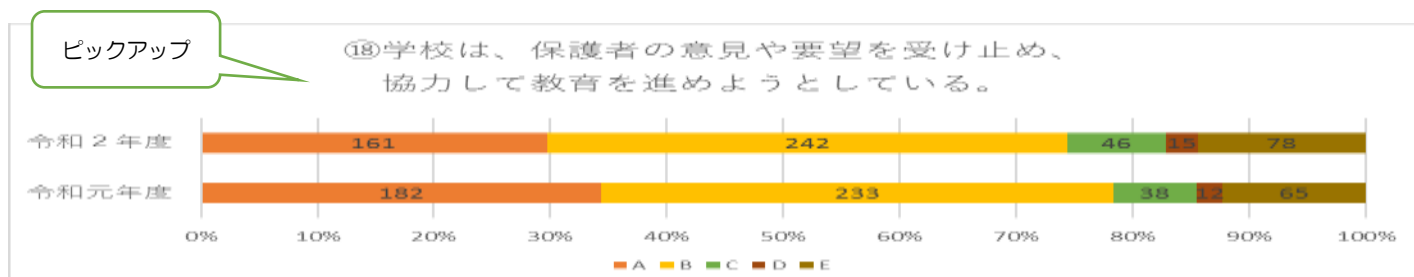
肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

⑰「情報発信」	令和元年度	86%	→	令和2年度	84%
⑱「要望の受け止め」		77%	→		74%
⑲「教職員の対応」		92%	→		91%
⑳「PTA 活動」		87%	→		76%

となっています。

分析・改善・充実

⑰「情報発信」では、前年度と同様、80%以上が肯定的評価でした。学校ホームページやフェアキャスト（メール配信）の積極的な活用、お知らせのペーパーレス化を含め、より迅速かつ分かりやすい伝達方法を推進して参ります。また保護者会や学級便り等で児童の様子をさらに具体的にお伝えできるよう一層努めて参ります。

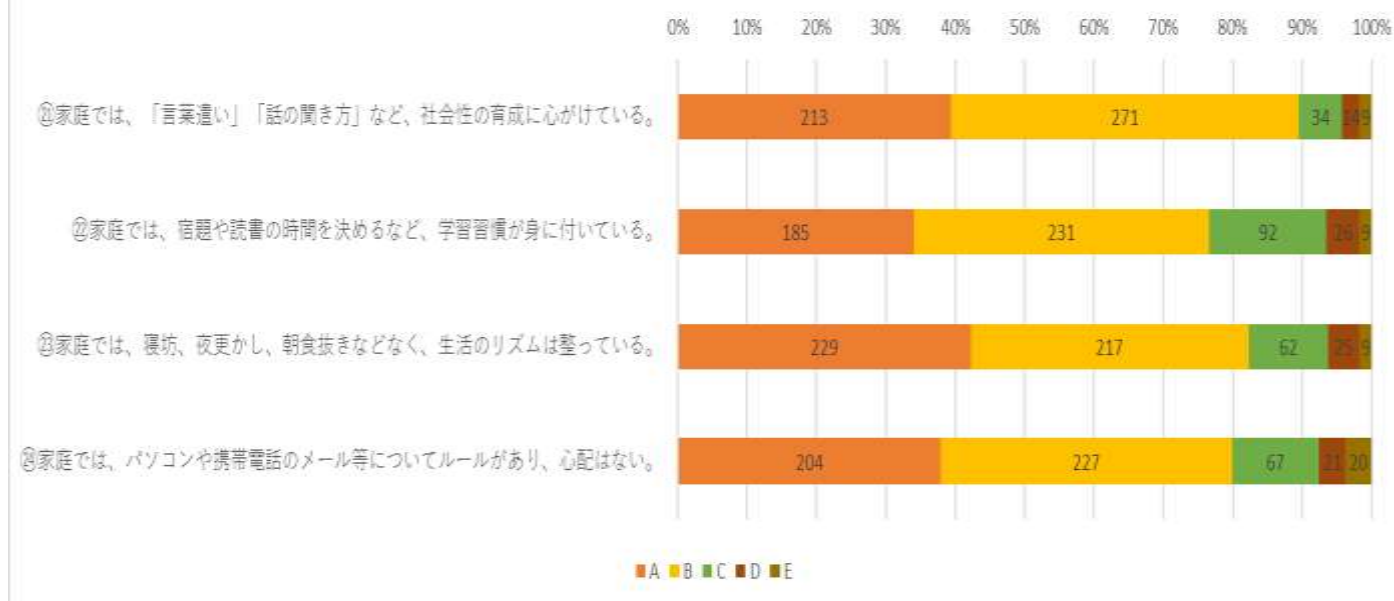


⑱「要望の受け止め」では、上記グラフのように、E「わからない」の評価が他に比べ多くなっています。コロナ禍において、保護者の方々と直接お話できる機会が限られたため、ご要望を把握し、迅速に対応することが難しい1年でした。一方、E「わからない」を除くと、肯定的な評価が87%を占めており、このような状況下においても、学校運営について多大なご理解をいただいたことを感謝しております。次年度も厳しい状況が続くと予想されますが、教師一人一人が常に相談窓口となり、ご要望に対して真摯に向き合い、対応できるよう努めます。また、保護者会では、担任からの一方的な情報伝達だけで終わらぬよう、保護者の方々からのご意見をうかがう時間を設定し、その後の学級経営に生かしていく取組を推進して参ります。

⑲「教職員の対応」では、今年度も90%以上の肯定的評価をいただきました。電話対応の際、教職員の氏名を名乗るなど、丁寧かつ適切な対応を徹底し、児童・保護者・地域の皆様との良好な関係を継続できるよう努めて参ります。

⑳「PTA 活動」では、76%の肯定的評価をいただきましたが、コロナ禍であらゆる活動が制限されたため、前年度より10%以上の落ち込みが見られ、厳しい1年となりました。本部役員の方々には、運営の仕方について、検討を重ねていただきありがとうございます。多大なご協力に感謝申し上げます。本校はPTAの方々をはじめ、地域の皆様のご協力が非常に大きな学校となっています。可能な限りPTA活動や地域の行事等を進めていけるよう、次年度もぜひご協力をお願いいたします。

5 家庭教育について（家庭での親子の関わり等について）



前年度比較

今年度の「5 家庭教育について」の結果は上記の通りとなりました。

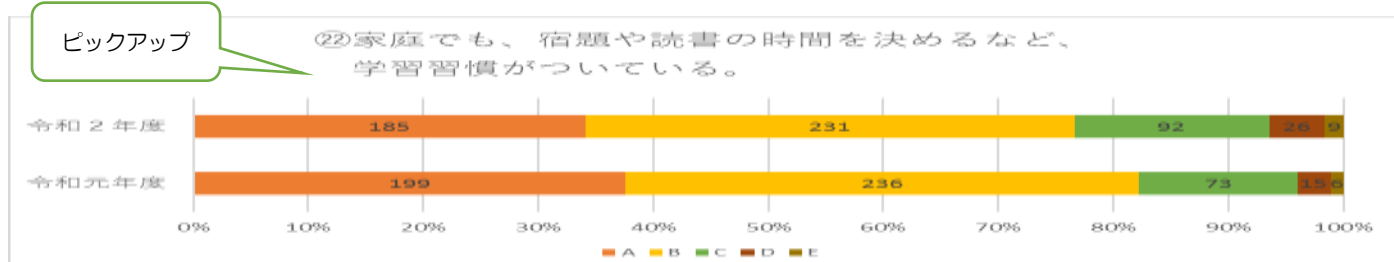
肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

①「社会性の育成」	令和元年度	92%	→	令和2年度	89%
②「学習習慣」		82%	→		77%
③「生活リズム」		85%	→		82%
④「携帯電話の使用等」		82%	→		80%

となっています。

分析・改善・充実

①「社会性の育成」では、前年度とほぼ同様、90%程度が肯定的評価でした。生活態度、ルールの遵守、親子の会話など、ご家庭でも日常にご指導いただいていることがうかがえ、家庭教育への関心の高さを感じます。引き続き、子供たちの良好な社会性を育むため、ご家庭でのしつけやふれあいの時間を大切にさせていただきますようよろしくお願いいたします。



②「学習習慣」では、上記グラフのように、C「あまりあてはまらない」が他に比べて多くなっており、ご家庭における学習時間の確保について、困難さがうかがえます。毎日決まった時間に学習することは難しいと思いますが、ご家庭における生活サイクルの一つとして、ぜひ家庭学習の時間を確保していただき、継続して取り組んでいただけますようよろしくお願いいたします。学校としては、宿題の量を自分で調整できるような方法を取り入れるなど、ご家庭で取り組みやすい工夫を推進して参ります。

②③「生活リズム」、②④「携帯電話の使用等」では、前年度とほぼ同様、80%超が肯定的評価でした。一方、C「あまりあてはまらない」の割合も多くなっています。学校においても、日常生活の指導に加え、SNSノートを活用し、携帯電話（スマートフォン等）の適切な利用について指導するなど、より良い生活習慣が身に付くように努めて参ります。ご家庭でも、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。